

県選抜体育大会ハンドボール競技 ガイドライン

《参加選手について》

- 保護者が事前に健康診断等を受診させるなどして、健康状態に異常がないことを確認し、参加を承認した生徒で、在学する学校の校長が参加を承認した生徒が参加資格を有する。
- ガイドライン（大会への参加）を遵守できる生徒が参加資格を有する。

《大会について》

- 賞状・優勝カップについては、大会終了後に各校で持ち帰る。
 - ◎ R元年度 〈男子〉Aブロック北部、Bブロック西條
〈女子〉Aブロック十三、Bブロック西條
- 大会日程については、要項およびプログラムを参照。
ただし、一部を変更し、開会式、閉会式は行わないこととする。そのため、選手の集合時刻は試合時刻に合わせて、各校で調整する。
顧問は8時40分からの監督会議に出席する。
- 大会終了後、各顧問で観客席等の消毒を行う。

《大会への参加について》

- 参加者（大会役員等を含む）は、大会当日に「チェックシート」を記入し、県中体連ハンドボール競技専門部に提出すること。チェックシートは、万が一、感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意して、県中体連ハンドボール競技専門部で大会終了後、1ヶ月間保存する。
- 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。
 1. 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 2. 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 3. 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクを持参することとし、参加受付時や着替え等の競技を行っていない際や、会話する際（トスの時）にはマスクを着用すること。
 - ◎ マスクを外す場合は、メインアリーナ内だけとする。マスクの管理については、各チームで確認しておく。
- 競技の前後は、必ず手洗い・マスク着用を行う。
- 他の参加者、大会役員等との距離（できるだけ2m以上）を確保すること。
- 観客席では、席を1つ空けて座ること。なお、前後でも席をずらすこと。
 - ◎ 各チームの座席を指定席とし、保護者が応援で使用する座席と区別する（別紙座席表参照）。
 - ◎ 昼食時の会話を避ける。
- 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、各学校、県中体連ハンドボール専門部に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- 大会の前後のミーティングにおいても、3つの密を避けること。
- ハーフタイム、試合後に役員がボールを消毒する。
- 選手の、試合前後の握手、相手チームへのあいさつを取りやめる。
- ☆ 以上これらのことを遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、大会への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがある。

《その他の注意事項・共通理解について》

- サブアリーナは他団体の使用があるため、できる限り接触を避ける。
- ボールカゴや救急箱、シューズ等のチームの用具は、エントランスに置かない。
 - ※ ボールカゴ・救急箱等はメインアリーナ、サブアリーナの壁際や角に幅を取らないように置く。
 - ※ 個人の所有物等は観客席で管理する。
 - ※ ランニングコースの密を避けるために、荷物の幅を取らないようにする。
- アップ場所屋内について、メインアリーナでは試合前のチームが使用する。ランニングコースを使用してもよいが、密を避けること。アップ場所屋外について、芝生を使用してもよい。
- 芝生への出入り口について、研修室側の出入り口は閉めきりのため、リラクゼーションロビー側の出入り口を使用する。
- コートの準備は、第一試合目、第二試合目のチームで行う。その後、第一試合目のチームはアップを行う。
 - ◎ 各チームのベンチは、〈Aコート〉芝生側、〈Bコート〉エントランス側とし、オフィシャル席も同様とする。
 - ◎ 試合が終わるごとに、役員でチームのベンチを消毒する。
 - ◎ 本部、来賓席（イスのみ）、審判席はA・Bコートの間とする。
- 選手の飲み物は、回しのみをしない。個人の水筒・ペットボトルを使用する。
- ベンチ内の控え選手は、大きな声援やかけ声は無しとする。
 - ※顧問・コーチが選手に指示を出すことはOKとする。
- コート内、ベンチ内でのハイタッチを禁止とする。
- ベンチでの座席は、1つ空けて座る。

《保護者・生徒等の観戦等について》

- 保護者の観戦（入館）は、会場正面入り口で会場係に健康チェックシートを提示した保護者のみとする。→当該対戦校の試合時間のみの入場（競技時刻15分前から）として、それ以外は退館する。観戦（入館）の都度、受付係に健康チェックシートを提示する。最終退館時に会場係に健康チェックシートを提出する。
 - なお、試合観戦のために観客席に入館できる人数制限は、1チーム15名までとする。
 - ※観客席1ブロックの座席数…約45席前後
- 屋内会場施設内に入場できるのは、当該対戦校の試合時間において、当該校の関係者のみとする。入退館口は、ソーシャルディスタンスに配慮する。なお、マスクの着用、入退館口での消毒を徹底する。
- 保護者は、大会開催時間中、生徒及びチームと接触しない。
- 観戦する保護者・生徒は、応援席で1つ座席を空けて使用する。また、前後の座席をずらして使用すること。鳴り物の使用や声を出しての応援は禁止とし、拍手のみとする。
- 会場係の役員を中心に会場正面入り口の入退館対応をする。3市で分担して行う。20日（日）、21日（月）ともに1・2・3試合目の時間帯を富山地区、4・5・6試合目を高岡地区が担当する。1、2名が常駐し、3試合間で交代してもよい。割り当ては各地区競技主任が行う。